

# 水の危機、死にかけているガザ

ガザ在住のアハメッド医師からの手紙

医師・ガザ在住/アハメッド・タワヒナ

## 200万人のガザ市民は生存できるのか？

50年に及ぶイスラエルによるパレスチナの占領……。このため、ガザ地区がたった一杯の安全な飲み水の枯渇から逃れたのは、ほんの数ヶ月に過ぎません。イスラエル軍による一般パレスチナ市民への暴力は、エスカレートする一方です。ガザには安全な飲み水がなくなっています。腎臓病が多く報告されていますし、いつ疫病が大流行してもおかしくありません。

実はガザの水危機は、自然災害ではありません。技術的な問題でもありません。イスラエル占領軍がパレスチナに深い井戸を掘らせないという、政治的な力による人災なのです。

ガザの問題は、政治的な詭弁によって、あなたもイスラエル・パレスチナの紛争が原因であるかのように見せかけられています。人々は、イスラエル軍による、丸腰の市民への武力攻撃や頻繁な暴力だけに目を向けがちです。

しかしこれによって、人間が生存を維持するために必要な問題が隠れてしまうことがあるのです。水と電気は、ガザ市民全員の生存に直結しています。

これは、軍事的占領において行われる日常的な銃の射撃、また一般市民に対して定期的に落とされる爆弾よりも、人々にとって深刻な脅威となるのです。

## いつか爆発して死ぬ「時限爆弾」のようなもの

市民は、地球上で最も人口過密なガザ地区に、まるで牢獄のように閉じ込められています。迫り来る水と電力の不足は、ガザ市民にとって、いつか爆発して死ぬ

「時限爆弾」のようなものです。道路、住宅地、家屋、農地を、未処理の下水が氾濫しています。ガザ市民の病気の蔓延という恐れが、現実のものとなりつつあります。

イスラエルは高さ8メートルの壁でガザを取り囲み、誰も自由に出入りできない牢獄にしています。しかし汚水や病原菌は、その壁すら越えてイスラエルにまで及んでいくことになるかも知れません。

## 貧困家庭は収入の3分の1が飲料水の購入費に！

ガザの水危機は、ここ10年以上、悪化の一途を辿って来ました。現在、パレスチナ自治体の水道は、電力不足により頻繁に断水するだけでなく、塩分が多すぎるとも飲めたものではありません。(ガザ市民はこの水を「塩水」と呼んでいます)地下水も塩分濃度が高いので、多くの農家は伝統的な作物である、イチゴ、キュウリ、トマトなどを諦めて、耐塩性の作物を作らなければなりません。

現在、水は公衆衛生上、あり得ない高レベルの硝酸塩と、味の悪い汚染物質を含んでいます。このため自治体が供給する飲料水は、家事や身体を洗うことのみ使われています。しかしそれでも、しばしば皮膚疾患や他の伝染病を引き起こします。ガザ市民はやむなく、脱塩プラントから水を運ぶ民間業者から飲み水を手に入れています。しかし貧困家庭だと、飲み水に収入の3分の1を水の購入費に当てる必要はないのです。

## ガザの全ての子どもたちが、腸管寄生虫に感染している！

汚染された水は腎機能障害、心不全、神経学的症状、嗜眠および高血圧を引き起こします。またガザの水に含まれている過剰なフッ化合物は有毒で、様々な疾病が市民を襲います。

それらは胃炎、潰瘍、腎不全、骨フッ素症(骨折や麻痺を引き起こす)、歯のフッ素症(歯茎に黒い線が現れたり、虫歯の原因)などです。

一方、WEOによれば、ガザにおけるあらゆる疾患の26%、ガザの子どもたちが被る、水関連の寄生虫感染症の50%の要因が、汚染水を飲むことが原因だ、ということなのです。

ガザの全ての子どもたちが、腸管寄生虫に感染しています。寄生虫の感染と慢性の下痢は、子どもの発達と成長にも影響を及ぼします。子どもたちは、深刻な健康被害を被っています。

硝酸塩が多く含まれる飲み水は、特に乳児にとっても危険です。ヘモグロビンの酸素との結合が妨げられ血流障害を起こすからです。乳児がブルーベイベー症候群に罹患すると、呼吸障害、下痢、嘔吐などを示し極端な場合は死に至るのです。

## 脱塩浄化装置の設置を！

ガザに在住する、アハメッド・タウラと申します。私はクリニックを営む医師であり、イスラエル軍の爆撃によって心身に傷を負った子供たちや学生に、トラウマの癒しを行う合宿を定期的に行っていました。

アースキャラバンのメンバーであるマガ

リやローレンスを通じて、私の活動にご寄付を頂き、また遠藤暁及さんとも繋がる事ができました。この8月、遠藤暁及さんと磨祐さんをガザにお招きし、ワークシヨップと心身にトラウマを負った人々の治療をお願いしようと思っていました。しかしその申請はイスラエル軍によって却下され、私の願いが叶うことはありませんでした。

暁及さんはそれでも、脱塩処理できる浄水装置を私のセンターに設置できるようにしよう、と行ってくださいました。その装置は約一万二千ドル以上(約130万円以上)もします。しかし遠藤暁及さんは、何とかお金を集めるから、と約束してくれました。そして、再び3月のガザ入城を目指してくれています。それまでに脱塩浄水装置の設置をと、考えていらっしゃるのこのことです。

**装置が設置されたら、近隣の約千人もの人々が、塩分の入っていない水が飲めるようになります。**

装置には、もちろんメンテナンスの必要があります。そこで私は、この装置を利用する人々から、わずかずつでもお金を頂き、それをメンテナンスの費用などに当てたいと、考えています。

私は今後も、子供たちや若い人々と心身のトラウマを癒しを行っていきます。同時に、生存そのものに直結する安全な水の供給も行いたいです。どうか、少しでも彼らのためにお気持ちを、ご協力をぜひとも、ぜひともよろしく願っています。

## ご寄付の方法について

---

### 【A】郵便振替

---

ゆうちょ銀行

□座番号 00950-8-192701

□座名 特定非営利活動法人アースキャラバン

※ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へは、ATMによる通帳・カードでの送金手数料は無料です。

また、アースキャラバン実行委員会からお送りする郵便振替払込書をご利用の場合も手数料無料です。

その他の送金方法による手数料は、恐れ入りますがご負担をお願いいたします。

### 【B】銀行振込

---

みずほ銀行

出町支店（デマチ支店）（店番号：587）

普通口座 1043045

□座名 特定非営利活動法人アースキャラバン

※恐れ入りますが、手数料のご負担をお願いいたします。

銀行振込でご入金頂いた方は、確認のため、お手数ですが下記1～6の内容をメールまたはFAXにてご連絡ください。

- 1.お名前
- 2.お振込名義人（カタカナでご記入ください）
- 3.ご入金日
- 4.郵便番号
- 5.住所
- 6.メールアドレス

---

大変お手数ですが、お振り込みの際に

「ガザジョウスイ」の文言を、

振込名義人または、備考欄に追記していただきますと大変たすかります。

ガザ浄水プロジェクトのご支援、どうぞよろしくお願いいたします。

---

NPOアースキャラバン アースキャラバン実行委員会  
〒605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入ル元町367-2  
京都タオサンガセンター内

NPOアースキャラバン 東京事務局

〒165-0027 東京都中野区野方1-5-11  
東京タオサンガセンター内 TEL：03-3385-7558

TEL/FAX **075-551-2770**

E-mail [info@earthcaravan.jp](mailto:info@earthcaravan.jp)

<http://www.earthcaravan.jp/>